

旅大学の特色

1. 創意工夫のユニバーサルデザイン(UD)ツアーです。

本ツアーはユニバーサルデザイン(UD)ツアーです。ただし、訪れる国や街、乗り物の事情で物理的に難しい場合もありますので、ツアーごとのパンフレットの扉上に参加できる人のマークを掲載します。しかし障がいは様々ですので個別にはお問い合わせください。

社会に様々な方が生き、暮らしているように、本ツアーでも、身体に様々な障がいのある人、ない人が混ざって、各地で実現したい様々な実行プランをパンフレット上に明示してひとつひとつ実現して参ります。と同時に、行きたいところへ行く。行き先をはじめから障がい者仕様に、柔な目的地に定めることはいたしません。たとえば車いすの人の場合、段差にはばまれたら乗り越えるか、あきらめるのか？本ツアーではできるだけ近くまでご案内し、手立てを探し、それでも難しい場合は、無理はせず、接近できた旅の現場の空気を味わっていただきたいと思っております。残存能力を發揮して、行けるところまで行くというスタンスでお願い申し上げます。

結果、過去の旅大学ツアーで触れた水は、地中海、大西洋、太平洋など数知れず。ゴビ草原へは投げれば開く縦型テントと段ボール製の携帯トイレを持参しました。ケニアの赤道上でトイレ経験も同様に。厳寒の北極圏にオーロラを見に行ったときは、杖にアイスピックをつけて、滑り止めゴムベルトを全員の靴に巻いて出かけました。ペルーの空中都市マチュピチュでも車いすの人は現地の力持ちを雇い、おんぶされて上りました。

2. トラベルボランティア(アマ)や旅行介助ガイド(プロ)をマッチングします

旅の行程中、介助を必要とする人が単独で本ツアーへ参加されたい場合、同じツアーに参加する健常者の中で、旅行中に車いすを押ししたり、目が不自由な人の手引きをしたり、荷作りや食事等のサポートをしながら旅するトラベルボランティア(有償ボランティア)を募集し、マッチングいたします。つまり介助力を提供し、人の役に立ちながら旅したい人と、b. 自分のできないことを介助してもらいながら旅したい人を引き合わせます。

ツアー参加費用は、一般の人を100%とすると、a. 昼間の移動、観光のみの同行介助を必要とする人は30%割増しになり、b. 旅の行程中に介助力を提供して旅する人は25%割引になります。

重度で、身体介助(排泄、入浴、着替え、夜間の寝返り介助等)を要する人の場合は、同行介助者の旅費と日当を負担して、NPO 法人登録の福祉技術のある旅行介助ガイドの同行を依頼する旅も可能性はありますのでご相談ください。どちらもヒアリング用紙に記入していただき、ケースバイケース、双方に無理のない形で調整してまいります。

3. その日の新鮮ネタ、吹く風や空気、流れる水を大切に

その日にしか出会えないイベントや市はないか？

ツアーパンフレット記載の日程は基本として、本ツアーではその日をより楽しくするために力を注ぎます。国境、コーヒータム、日の出、日没、朝市、移動遊園地、蚤の市などをツアーの中にできるだけ盛り込みたいと思っております。街に入ったら、一期一会、よい景色が展開するようにバスで通る道にもこだわります。参加者の総意を確認しつつ、同行トラベルデザイナーがその日で一番良い旅に仕上げていきます。

お願いとお断り

●このツアーでは普段自立をした生活をしている方は旅も自分のできるという考えから単独参加していただけます。どのような自助具を使い、どんな作戦で旅されたいか、ご相談ください。

●このツアーでは、1. 生活介助(a. 食事、b. 排泄、c. 着替え、d. 入浴、e. 寝返りなどの日常的なサポート)が必要、また、2. 移動中に連続的な誘導や車いすを押し必要がある、3. 動作のスピードがかなり遅い方の場合は、介助者のご同行をお願いします。

●同行する介助者が見つからない場合、トラベルデザイナーにできるだけ早くご相談ください。Npo 法人ジャパン・トラベルボランティア・ネットワーク(JTVN)の登録者同士の助け合いという道があります。手引きまたは車いすを押し程度の方は30%増し、排泄、着替え、入浴等のサポートのある方はその介助内容と回数にもよりますが、50%~100%増しで実現してきた実績があります。JTVNの問合せ電話は042-372-8501へ。

●車いすでツアーに参加される方へ。車いすはご自身の足の代わりです。タイヤの摩耗を解消して、旅先ではパンク修理剤をご持参ください。車いすのマニュアルを読み、車いすの構造をよく理解して、指示ができるようにお願いします。

●また、このツアーでは行きたいところに行けるところまで行く、という考え方をしています。また行くところは必ずしもバリアフリーとは限りません。障がいの有無にかかわらず、参加者の体力や障がいは個人差があり、参加者ご本人の判断でツアー内容の実行プランを自己判断で取捨選択をお願いします。そして冒険すると自分で決めたら、自己責任でお願いいたします。